

⑤安位川

i 整備方針

【環境・景観】安位川は、最下流の葛城川合流点から六道橋付近までは宅地化が進んでおり、上流区間は主に農地が広がっている。河川の整備を行う際は、みお筋の形成や水際の植生の回復に努める。

【利用・利水】葛城市忍海に整備した河川公園などでは関係自治体及び地域住民と連携し適切な維持管理を図る。また、取水施設や取水量の把握に努め、継続的に水質や水量の把握に努める。

【治水】安位川は、流域全体の治水安全度を上げるため、洪水を流下する能力が不足する区間のうち、六道橋までの区間について計画的に河道改修を行う。

ii 河川工事の目的

概ね10年に1回程度の確率で発生する降雨の洪水を安全に流下させるとともに生物の生息環境を保全する。

iii 河川工事の種類

現況の河道法線をもとに、河道断面の拡大(拡幅・河床掘削)を行う。

iv 河川工事の施行の場所

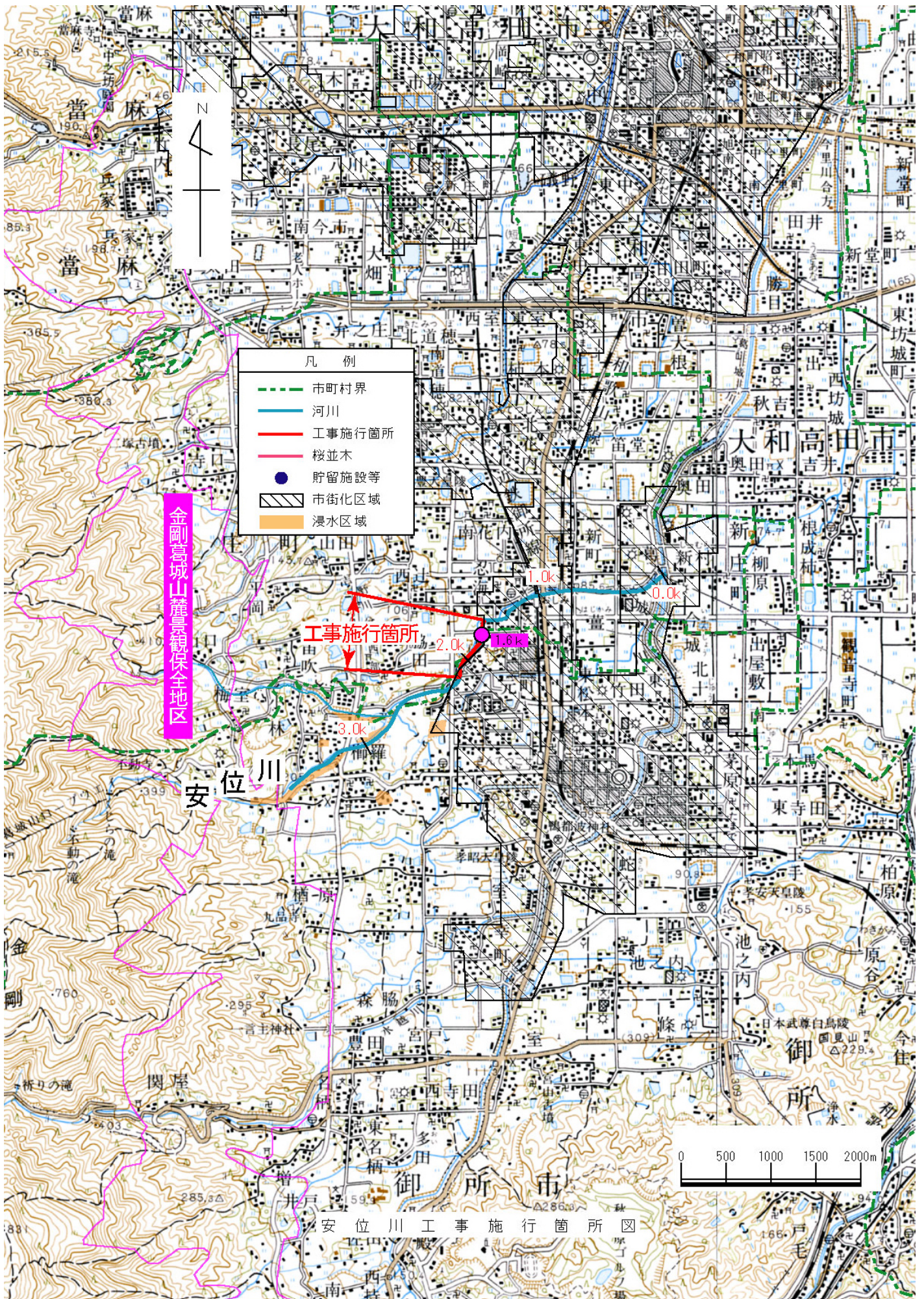
葛城市西辻地内から葛城市脇田地内

(葛城川合流点より1.5km地点から六道橋まで約700m 河道拡幅・河床掘削)

施行区間内の主な既存工作物

橋 梁	3 橋
取 水 堰	7 基





※浸水区域は、過去の主要洪水による浸水実績を重ね合わせたものです。